

2015年度 第1回資源・リサイクル小委員会 議事録

日時：2015年5月26日（火） 12:30～13:00

場所：市ヶ谷-九段校舎3階 第一会議室

多摩-1号館（総合棟）4階 第三会議室AB

出席者：廣岡康久（学務部次長）、勝又秀雄（環境センター次長）、中村和正（事業室環境保全課長）、一ノ瀬亨哉（多摩事務部総務課長）、中村政哉（市ヶ谷学生生活課長・座長）、島田大輔（国際文化学部担当主任）、中島健介（人間環境学部担当主任）、田村敦司（市ヶ谷学生生活課主任）、田川満勇（市ヶ谷環境事務課）

議事に先立ち、中村市ヶ谷学生生活課長から、本年度の当委員会の座長を務める旨の説明があった。

議事：

報告事項

（1）2014年度小委員会活動報告【資料1】

資料に基づき中村座長から、2014年度の主な活動としてごみの分別が行われたこと、リサイクル可能な紙ごみが大量に「燃やすごみ」として捨てられていたことなどが報告された。

（2）2014年度コピー・リソ・OA用紙等、一般廃棄物使用量報告【資料2-1、2-2】

資料に基づき中村座長から、2014年度の使用量、廃棄物の排出量の報告がなされた。市ヶ谷キャンパスの使用量は前年比99.2%で目標の1%減に達しなかったが、多摩キャンパスでは前年比91.2%で目標を達成した。市ヶ谷では廃棄物についても目標を達成できなかったが、事業室中村課長より「直近の6か月は何れも月の目標排出量を下回っており、改善の傾向が見られる」との補足説明がなされた。

（3）その他

学務部廣岡次長より、資料上の「部門部局（OA用紙の集計単位）」が事務組織と異なっているため、誤解を受ける恐れがあるとの指摘がなされた。また字句の誤りが指摘された（学務事務課→学部事務課）。

協議事項

（1）2015年度の活動内容・目標について【資料1】【資料3】

前年度の活動記録、2013-2015年度環境目的・目標策定表を参考に委員で検討した結果、下記を2015年度の活動方針とすることになった。

①ごみ分別体験の実施

2015年度も実施する。参加者を増やすだけでなく、いろいろな構成員に参加してもらえるように呼びかけ先を工夫する。具体的には事務職員（特にエコ・マネージャー）、学部教員等。

②ミックスペーパー回収の強化

回収率向上のための方策を検討し、実施する。

（主な案）

- ・「ミックスペーパー」という言葉の意味するものをわかりやすく解説したうえで回収する。
- ・「ミックスペーパー」という表示をやめ、単純に「紙ごみ」とし、濡れた紙・汚れた紙だけ「燃やすごみ」に入れるよう案内を出す。
- ・まず「燃やすごみ」に入れるのではなく、先に「紙ごみ」に入れられるものを入れ、残ったものを燃やすごみに入れる習慣を身に付けてもらう。等

③ペーパーレス化への工夫

用紙自体の使用量削減を呼びかける。

- ・特に省資源重点部門、連続して目標を達成できなかった部門を中心に。
- ・古くなった掲示等を新しいものに変え、あらためて省資源、リサイクルを意識してもらう。

(2) その他

資料3に関し、事業室中村課長から、廃棄物の抑制と再資源化の推進に関する事項の2015年度環境目標が、「基準値を維持する」から「2014年度の1%減とする」に修正されている、との補足説明があった。

配付資料

- 【資料1】 (2014年度活動報告) 省資源・リサイクル活動の推進について
- 【資料2-1】 2014年度 コピー・リソ・OA用紙使用量ランキング
- 【資料2-2】 一般廃棄物量 市ヶ谷・多摩(2014)
- 【資料3】 2013-15年度 環境目的・目標策定表

以上